

スポーツの力で滋賀を元気 ～カヌー競技 奥田翔悟選手 からのメッセージ～

いつも温かいご声援をいただき、誠にありがとうございます。総務課所属の奥田翔悟と申します。

梅雨も明けて暑さも本格的になってまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

カヌー競技のシーズンは4月～11月で、現在はシーズン真っただ中となっております。今年は6月8日～10日に激流を漕ぎ下る、カヌーワイルドウォーターという種目で初のワールドカップに参加してきました。会場はフランスのトレニャックという町のヴェゼール川でした。美しい街並みとは裏腹に川は日本のコース会場では見たことのない程の激流で、無事に漕ぎ下るだけでも精一杯でした。あらためて世界の川のレベルの高さを実感しました。今回の海外遠征ではトップ選手の競技を間近に見ることが出来、沢山のテクニックを学び収穫の多い大会となりました。今後、ますます活躍できるように活かしたいと思っております。



6月30日には国体本選への出場をかけた近畿ブロック大会があり、スラローム競技で挑みました。2府4県の中から出場出来るのは1名だけの1名だけです。しかし、残念ながら0.02秒というわずかな差で2位になってしまい、国体出場を逃してしまいました。勝負の世界ですので負けは負けですが、とても悔しい思いをしました。

今後の大きな大会は9月に岐阜県で行われるスラローム競技、ワイルドウォーター競技の日本選手権です。この大会は来年度のワイルドウォーター競技のナショナルチームを決めるレースとなっております。私にとっては今年最後となる大事なレースですので、ここで必

ず良い成績を出さなくてはなりません。今はそれに向けて日々の練習に打ち込んでいます。

カヌー競技はヨーロッパではメジャースポーツですが、日本では決してなじみの深い競技とはいえないマイナースポーツです。ご存じでない方もたくさんいらっしゃると思いますが、カヌーは自然と一体になれる魅力的なスポーツです。身体で風を受け、その日の空気や水、流れを感じ全身で艇を操る他にはない感覚を得られる競技です。是非、私や当院坂井田副院長を通じて少しでもカヌーの魅力を知っていただけたらと思います。

最後に私がこうして競技に打ち込めるのも、患者様の応援や声援、職員の方々の支えがあってこそ、世界に挑むという大きな夢に挑戦することができます。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この気持ちを忘れ



ずにこれからも目標に向かって頑張っていくますの、引き続き応援の程よろしくお願ひ致します。

当院総務課に勤務するカヌー選手の奥田翔悟君を紹介させていただきます。

奥田君は毎日、八日市から約1時間半かけて当院に出勤しています。昼まで総務課で仕事をした後、近江八幡の西の湖で高校生に指導しながら夜まで練習に励んでいます。西の湖では流れがないため、週末にはより実践的な練習を行うため約2時間かけて岐阜県の揖斐川に出向き練習を行っています。残念ながら2020年の東京オリンピックには出場できませんが、5年後の2024年のパリオリンピックの出場と、滋賀県で行われます第79回国民体育大会での優勝を目指して日々練習に励んでいます。

皆様、今後ともご支援・ご声援の程よろしくお願ひ致します。事務部副部長 小嶋 浩一

※ 当院は滋賀県企業スポーツ振興協議会に入り企業スポーツ選手を応援しています。